

2021年3月期 第3四半期

決算説明資料

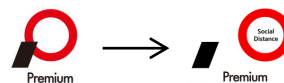
2021年2月5日

【東証一部 7199】 プレミアグループ株式会社

2021年3月期 第3四半期決算概要

APPENDIX

2021年3月期 第3四半期決算概要



- ✓ 自動車マーケットは**回復基調**
- ✓ クレジット・故障保証ともに**増収**、子会社の収益も加わり営業収益は**右肩上がりに伸長**

マーケット

- **新車登録台数 前年同期比 115.2%** / **中古車登録台数 前年同期比 107.8%**
新車・中古車ともに、マーケットは回復基調

(一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 統計データより。2020年10月～12月の平均値)

KPI

- **主要事業における取扱高の前年同期比**

クレジット取扱高 3Q累計 **89.7%** (1Qのみ90.8% 2Qのみ 79.5% 3Qのみ**101.9%**)
故障保証取扱高 3Q累計 **102.9%** (1Qのみ89.5% 2Qのみ109.8% 3Qのみ**109.7%**)

業績

- **営業収益 127.9億円** (前年同期比 **125.7%**)
3Qのみ営業収益は前年同期比125.2%

- **将来収益 (繰延収益) 289.5億円** をBSにストック (前年同期比 **115.0%**)
クレジット 239.3億円、故障保証 47.8億円、その他 2.4億円

TOPICS

- **通期業績予想を上方修正**

2021年3月期の業績予想を修正。

コロナ禍の長期化予測をふまえ、中期経営計画数値については見直し中。

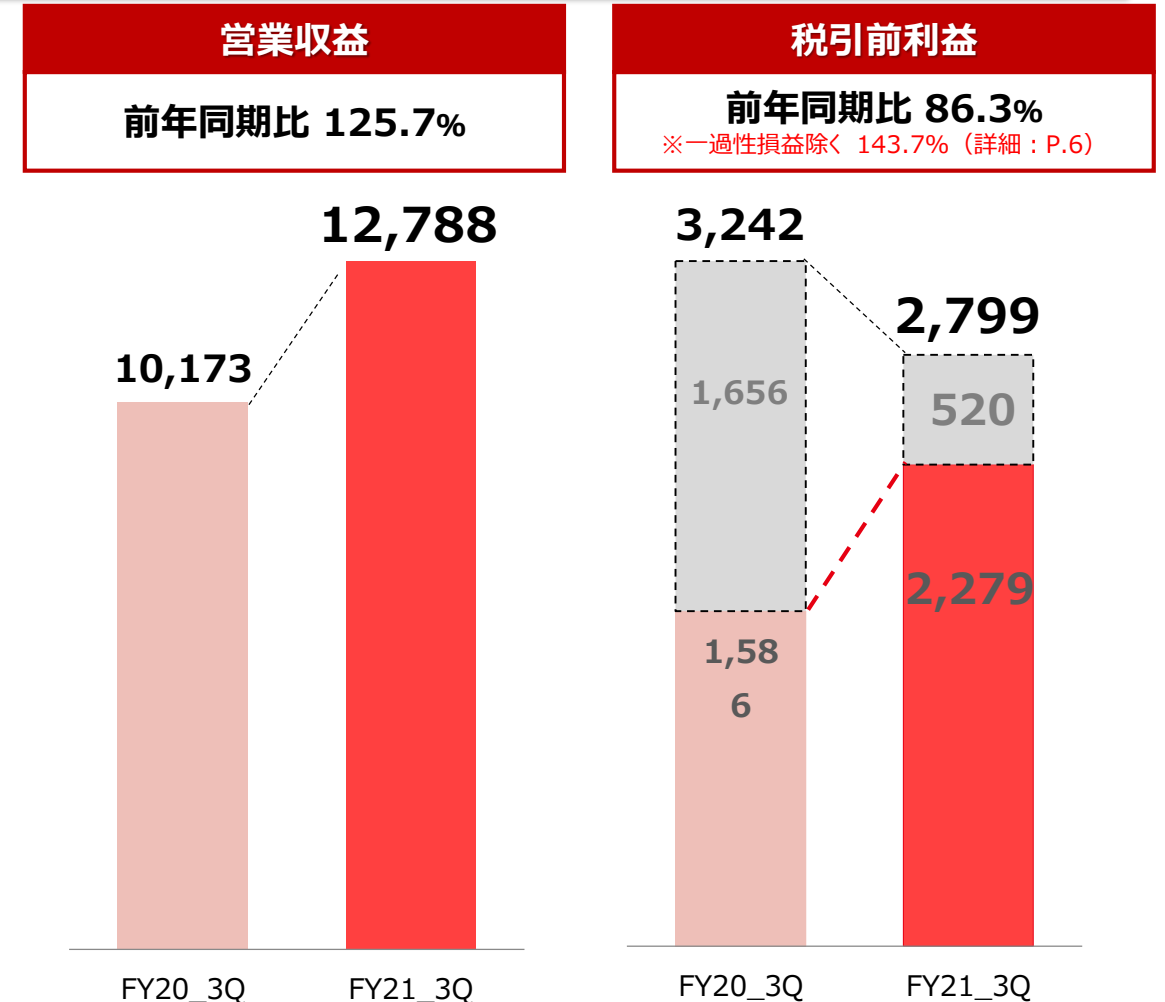
2021年3月期 第3四半期 連結業績

(表・グラフ単位：百万円)



- ✓ 事業伸長によるストック(将来収益)の実現により営業収益は、127.9億円（前年同期比 125.7%）
- ✓ 一過性要因を除く本業に係る税引前利益は、22.8億円（前年同期比 143.7%）

	2020年3月期 3Q累計	2021年3月期 3Q累計	前年同期比
営業収益	10,173	12,788	125.7%
その他の収益	2,099 <small>*会計上の見積りの変更</small>	653 <small>*株式取得に伴う負ののれんの発生</small>	31.1%
営業費用	8,954	10,602	118.4%
税引前利益	3,242	2,799	86.3%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,971	1,835	93.1%
基本的1株当たり 当期利益（円）	149.77	143.86	96.1%

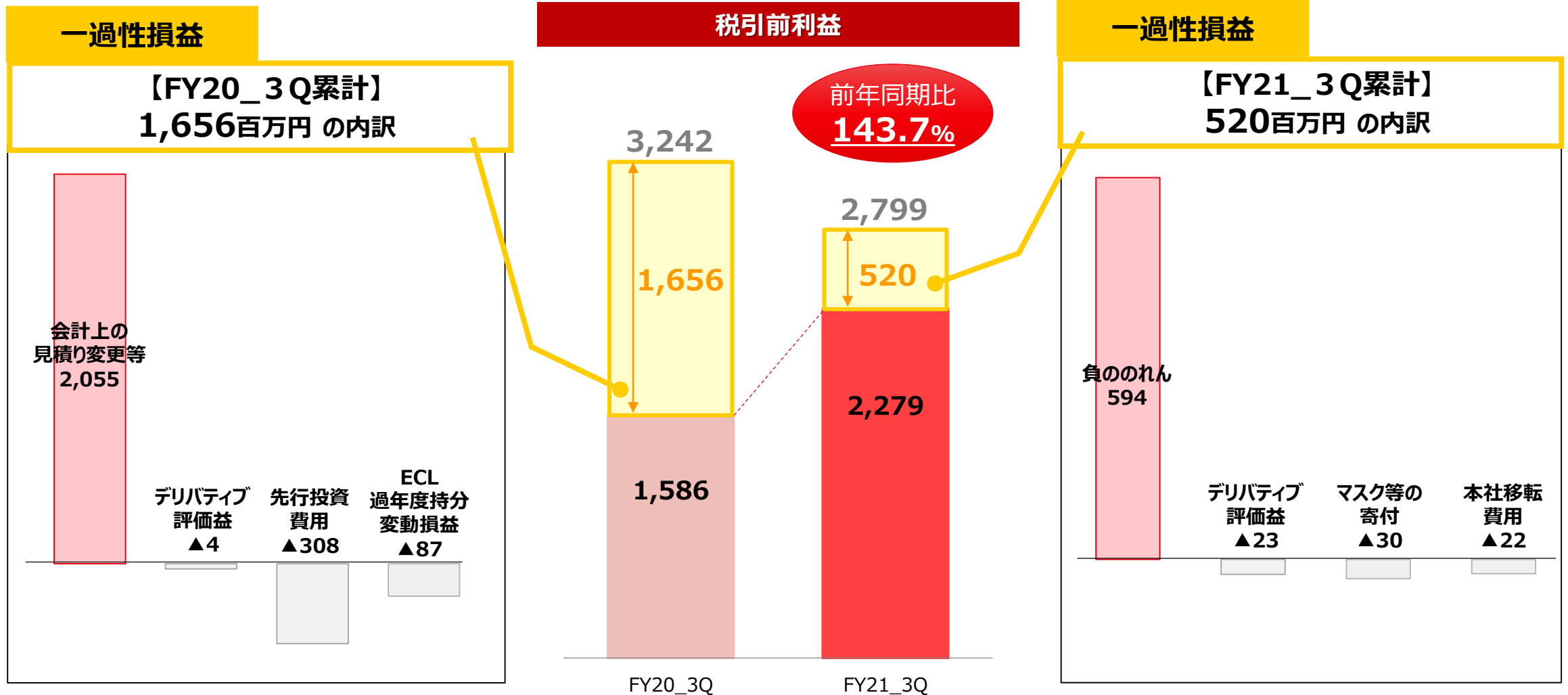


本業に係る税引前利益について

(グラフ単位：百万円)



- ✓ 一過性損益として、前期16.6億円、今期5.2億円を計上
- ✓ 一過性要因を除く本業に係る税引前利益は、22.8億円へと増加し、前年同期比 143.7%



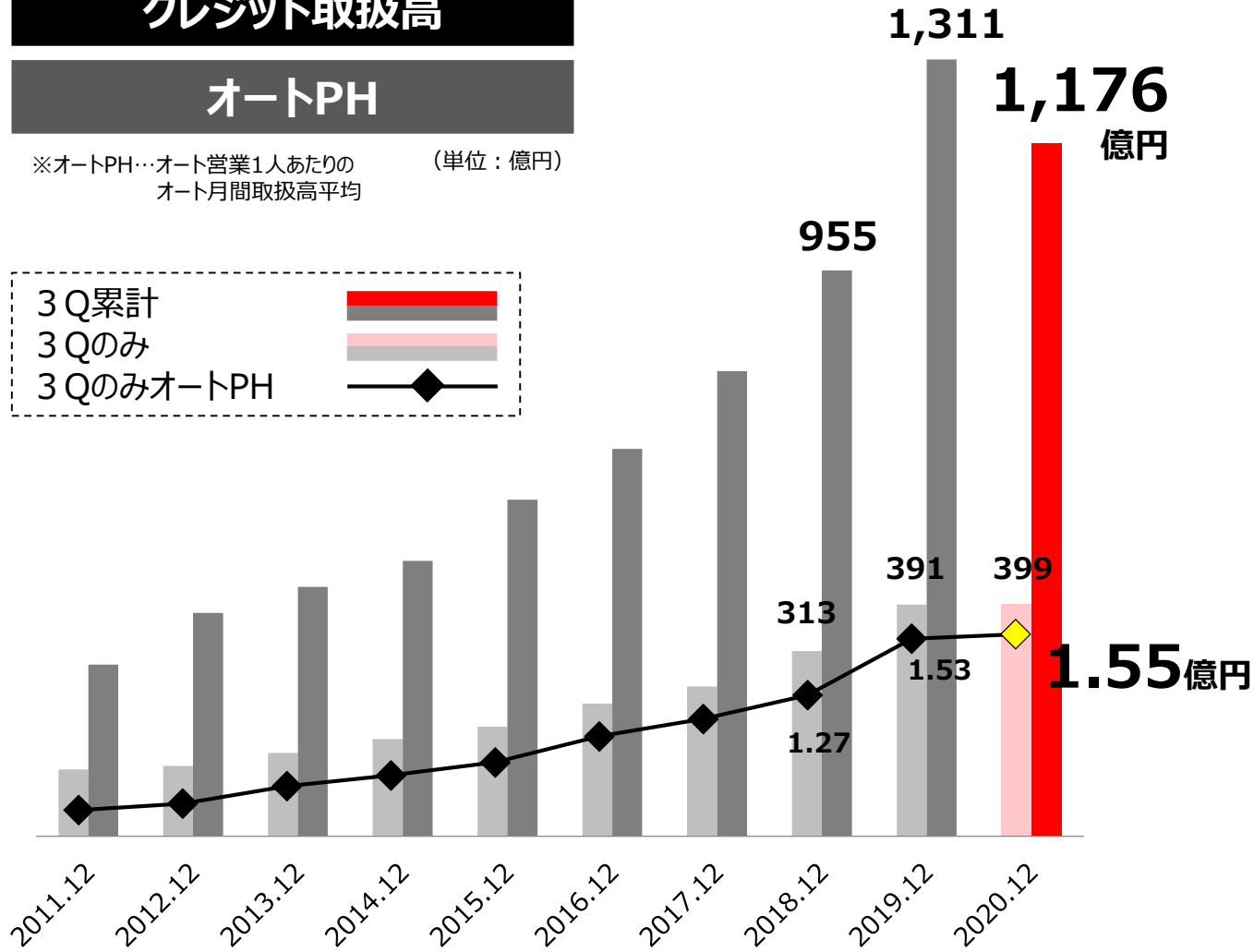
ファイナンス事業 クレジット取扱高推移



クレジット取扱高

オートPH

※オートPH…オート営業1人あたりの
オート月間取扱高平均 (単位：億円)



3Q累計
クレジット取扱高
前年同期比
89.7%

3Q累計
クレジット粗利額
前年同期比
100.1%

3Qのみ
クレジット取扱高
前年同期比
101.9%

クレジット取扱高
下期予想
前年同期比
100.0%

増減要因

- 3Qのみでは前年同期比101.9%に回復
- コロナ禍による営業拡大路線を一時ストップ
⇒来期に向けて、営業人員採用は再開
- 利益重視の営業体制
⇒昨年と比べ、大手中古車販売店の取引が減少

戦略

- 引き続き新規加盟店の獲得及び稼働促進に注力
- DX化推進し、加盟店の利便性向上・営業の効率化を図る
※契約書ペーパーレス化、自動審査の高度化、加盟店向けポータルサイトリリース等
- 加盟店向け会員制サービス「PFS Premium Club」募集開始
クロスセル促進を通じたプラットフォーム構想への一歩を踏み出す

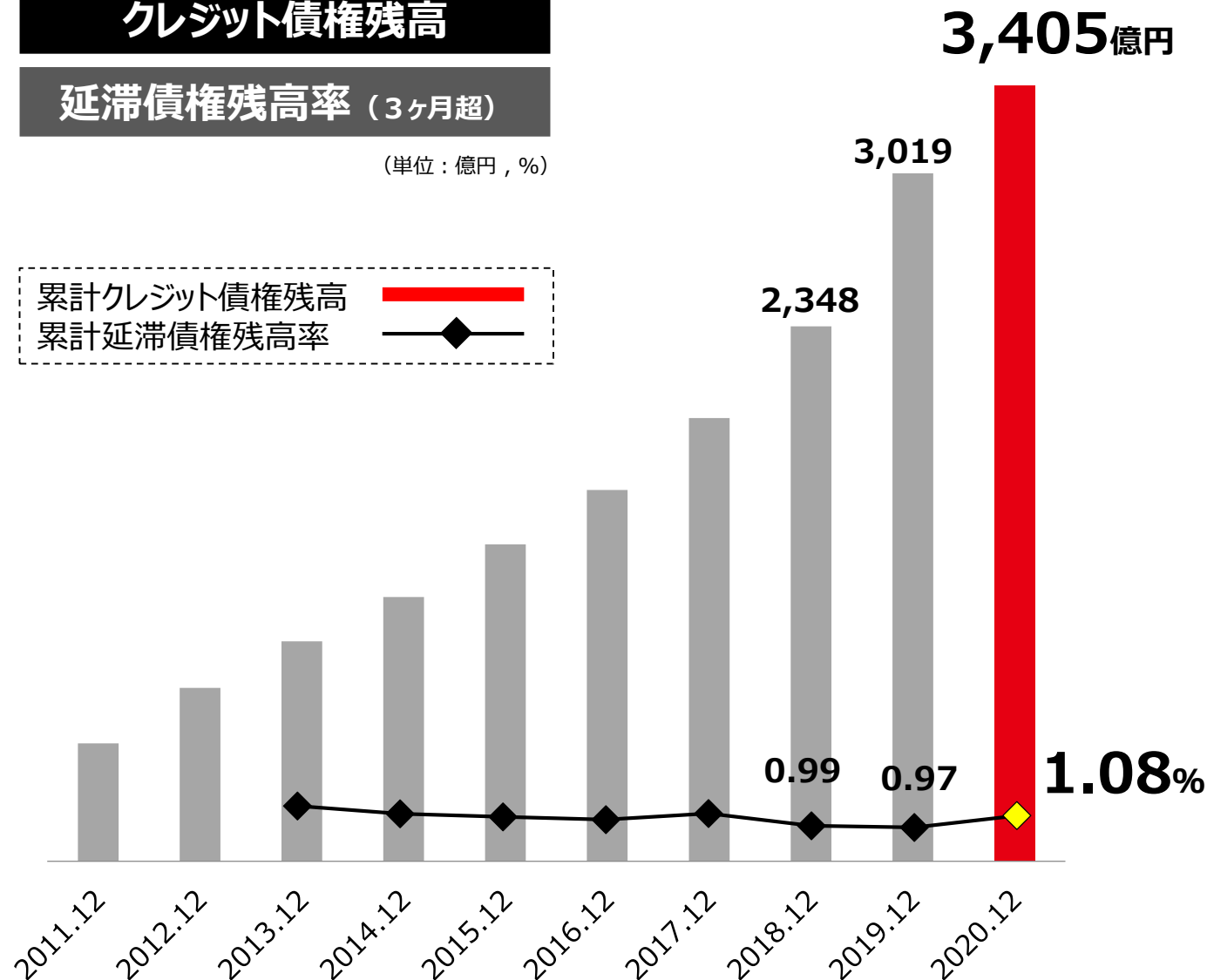
(注) 1. クレジット取扱高とは、その期間で新たに締結したクレジット契約金額、及びリース保証契約金額の総額です。オートクレジット以外の商品（エコロジークレジット等）の取扱高も含めた値であり、プレミア株の実績です。
2. クレジット粗利額とは、クレジット契約金額の総額（取扱高）に含まれる、お客様から受け取る分割払手数料のうち、販売促進費と立替金を調達するコストを引いた金額です。
3. PHとは、オート営業人員1人あたりの月間取扱高平均です。月間取扱高とは、1ヶ月の間に新たに締結したオートのクレジット契約金額及びリース保証契約金額の総額をいい、クレジット契約金額とは、商品代金残金及び分割払手数料の合計額をいいます。なお、PHはプレミア株の実績です。

クレジット債権残高

延滞債権残高率 (3ヶ月超)

(単位: 億円, %)

累計クレジット債権残高
累計延滞債権残高率



クレジット債権残高 前年同期比

112.8%

延滞債権残高率

1.08%

延滞債権残高率のトピックス

- 債権内容自体の悪化はなし
(延滞債権の発生率は例年並みの低位で推移)
- 一時的な営業ストップに伴う債権残高の積上げ未実現により、延滞債権残高率は微増
- クレジット債権の保険料率上昇への影響は無し
⇒PLへの影響も無し。来期の保険料も同等の料率の見込み

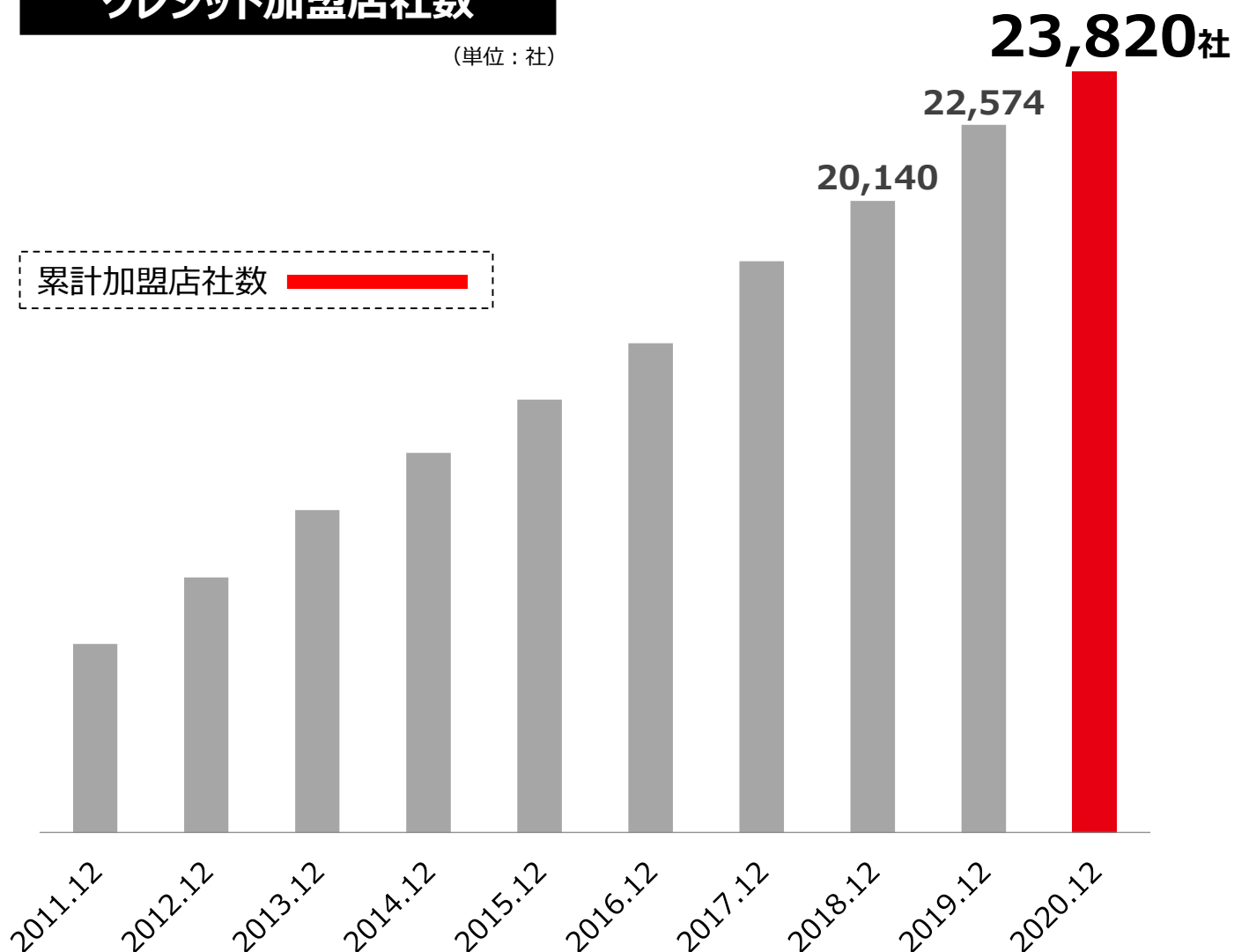
戦略

- 引き続き、長期延滞抑制のため、初期延滞の解消に注力
⇒DXによる業務イノベーション (IVRの導入等) を推進
- 今期グループインした中央債権回収㈱のノウハウを活用し、特に中長期延滞の解消を強化する

(注) 1. クレジット債権残高とは、開業から期末までの累計取扱高のうち、当該時点において返済されていない又は保証期間が経過していない金額の総額をいいます。オートクレジット以外の商品 (エコロジークレジット等) の債権残高も含めた値であり、プレミア㈱の実績です。
2. 延滞債権残高率は、当該期末時点のクレジット債権残高に対し、延滞月数が3ヵ月を超える債権及び特別債権 (司法介入債権) の合計額が占める割合をいいます。債権回収指標定義の見直しをした2013年3月期以降の実績を記載しており、プレミア㈱の実績です。

クレジット加盟店社数

(単位：社)



クレジット加盟店社数
前年同期比
105.5%

増減要因

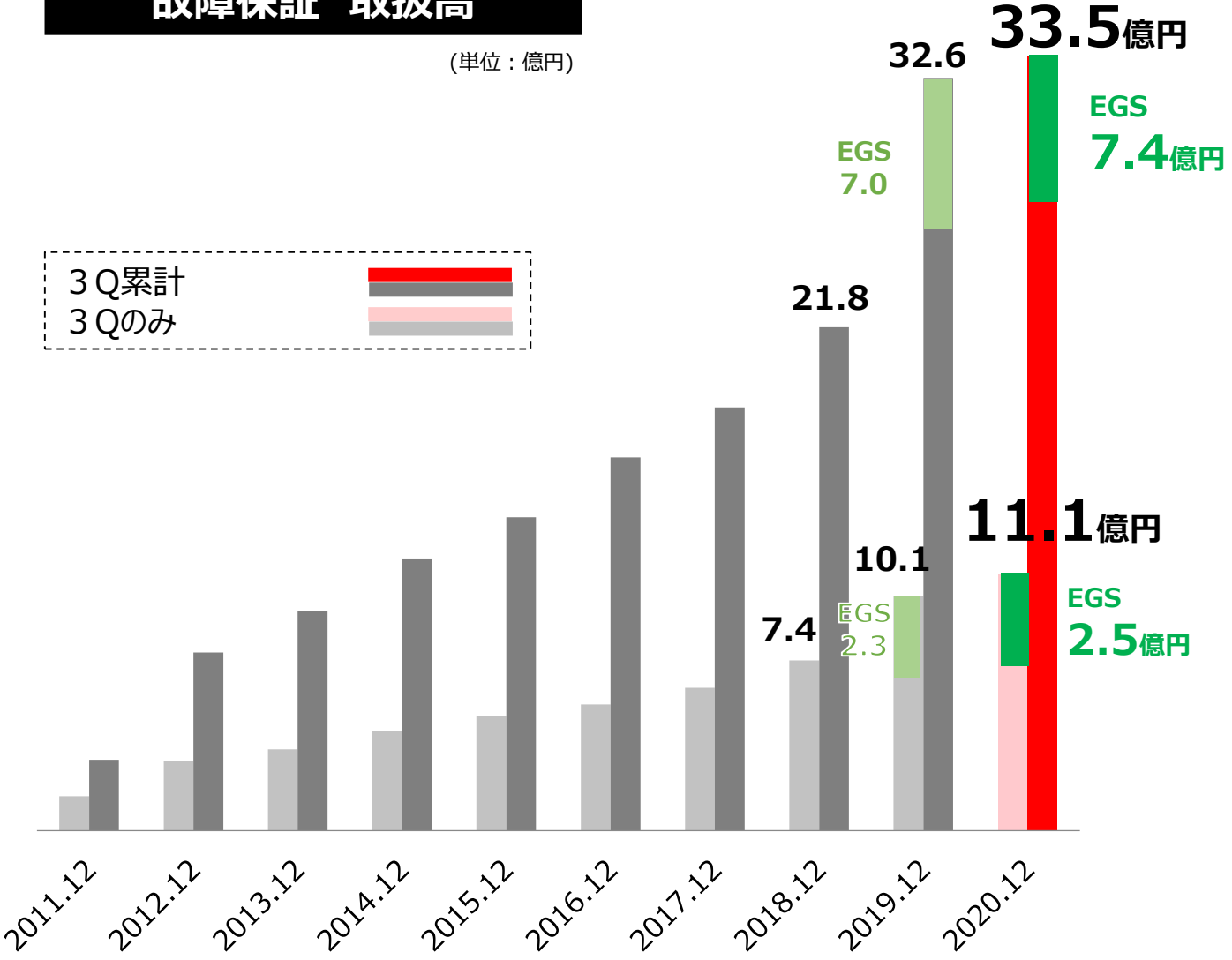
- 3Qは既存加盟店におけるシェア向上、及び2Qで開拓した新規加盟店の稼働促進に注力

戦略

- 今後も新規加盟店の開拓は継続し、稼働促進にも引き続き注力
- コンタクトセンター(アウトバウンド営業)による未稼働先への稼働促進を並行実施
- 加盟店向けポータルサイト「P-Gate」をリリース、既存加盟店の利便性向上によるプレミア(株)シェアの維持・向上を図る

故障保証 取扱高

(単位：億円)



故障保証取扱高 前年同期比

102.9%

プレミアム取扱高 前年同期比 101.8%
EGS 取扱高 前年同期比 106.8%

*いずれも3Q累計

増減要因

- マーケットの回復に合わせ、取扱高も回復
- コロナ禍において、商品説明動画を用いた営業活動が奏功
- 12月、大手先とのOEM契約を獲得

戦略

- 当社グループネットワーク内の整備工場での故障車両の修理を行うことにより、利益率を上昇させる
- 自動車販売店向け会員制サービス「PFS Premium Club」募集開始。クロスセルの促進を図る
- リース車両やオークション落札車両への保証付帯など新しい取り組みに向けた準備を推進

(注) 1. EGSとは、2020年10月に新たに設立した会社であり、プレミアワランティサービス(株)が営業を委託しております。
2. プレミアワランティサービス(株)は、グループ全体としてクロスセルを推進するため、プレミア(株)にも営業を委託しております。
3. 故障保証取扱高とは、その期間で新たに締結した保証契約金額の総額であり、2019年4月より、プレミア(株)の実績にEGS(株)の実績を含めた値です。

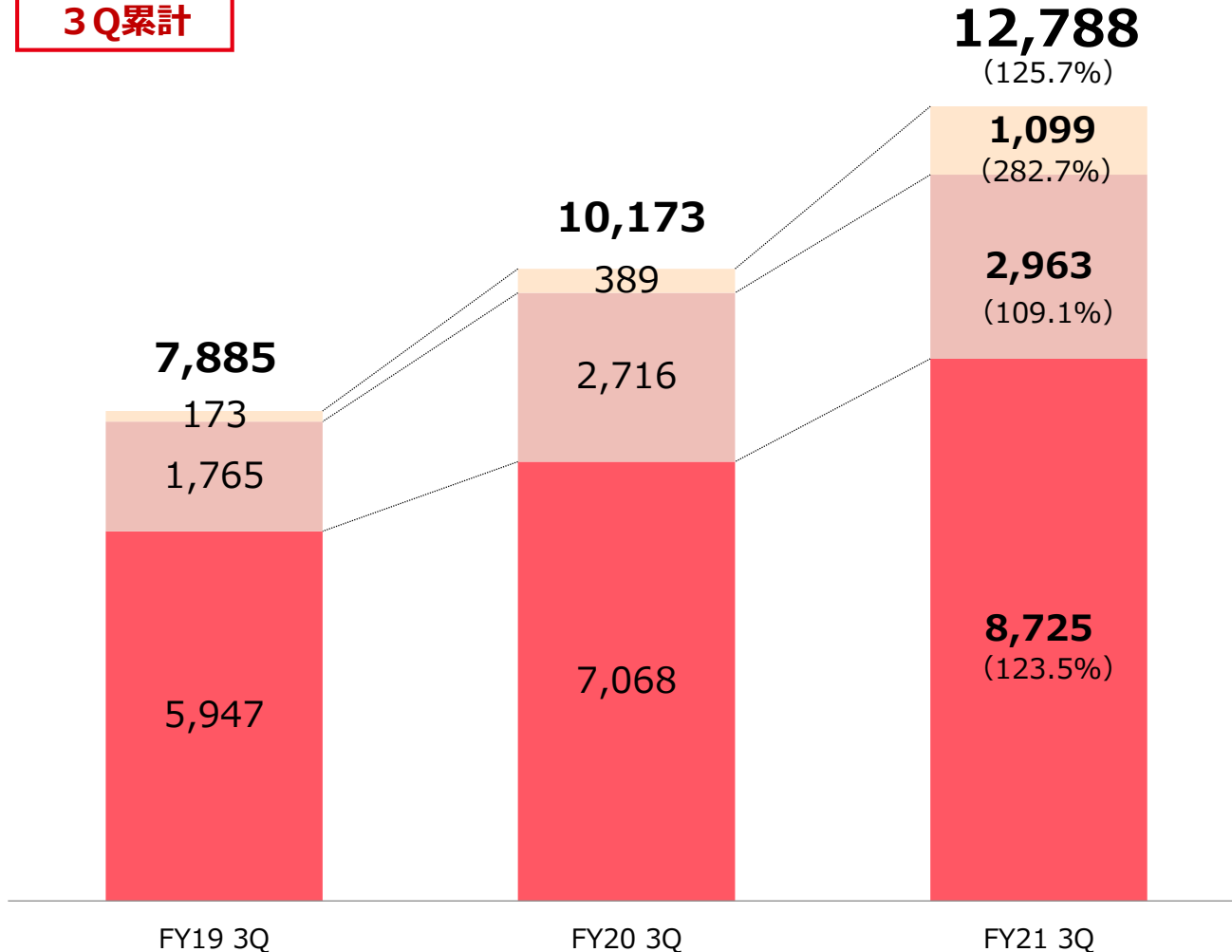
事業別営業収益（PL）の推移

(グラフ単位：百万円)
(グラフカッコ内：前年同期比)



- ✓ 営業収益は、127.9億円（前年同期比 125.7%）
- ✓ ファイナンス事業、故障保証事業も増収、オートモビリティサービス事業も大きく伸長

3Q累計



各事業の収益面における特徴

- **ファイナンス事業、故障保証事業は残高を積み上げるアセットビジネス**
 - ① 安定的な収益計上
 - ② 景気や季節性の影響を受けにくい

※将来収益 289.5億円をBSにストック
クレジット 239.3億円、故障保証 47.8億円、その他 2.4億円
- **新規事業であるオートモビリティサービス事業はFee事業を中心に今後も大きく伸長**
- **今期末における営業収益構成比15%を目指す**

- ファイナンス事業（クレジット・リース・サービサー）
- 故障保証事業
- オートモビリティサービス事業（部品販売・ソフトウェア販売・自動車整備）

営業費用（PL）の推移

(グラフ単位：百万円)
(グラフカッコ内：対営業収益比率)

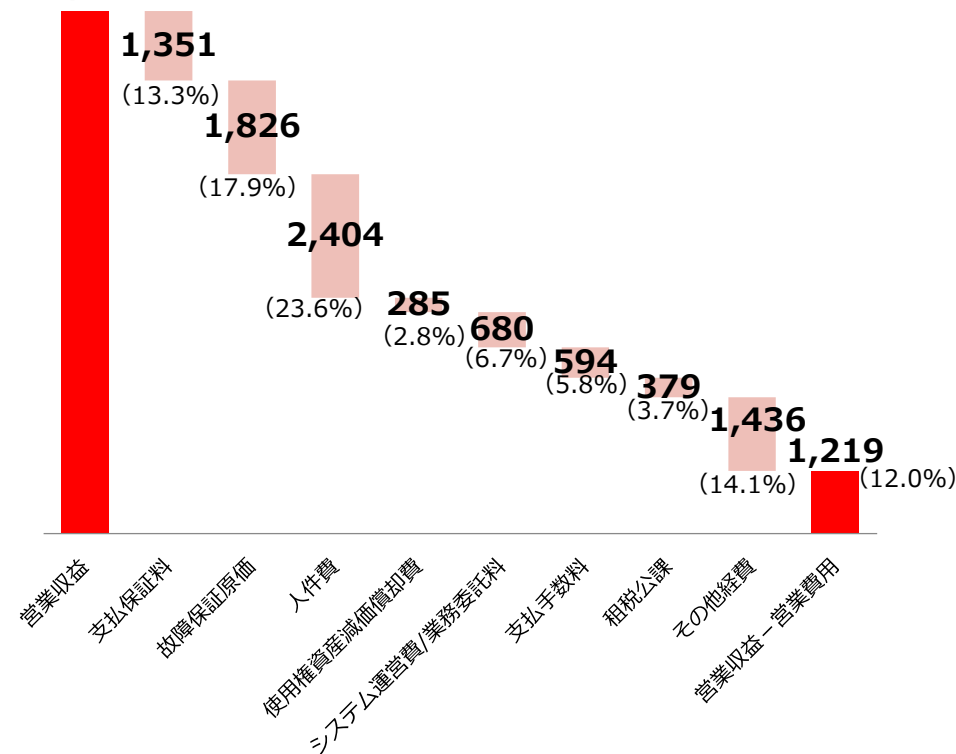


✓ 営業費用の合計は、106.0億円（前年同期比 118.4%）
⇒コロナ禍における営業活動自粛や経費削減により、例年より前年同期比の伸びが縮小

FY20 3Q

営業費用 8,954百万円

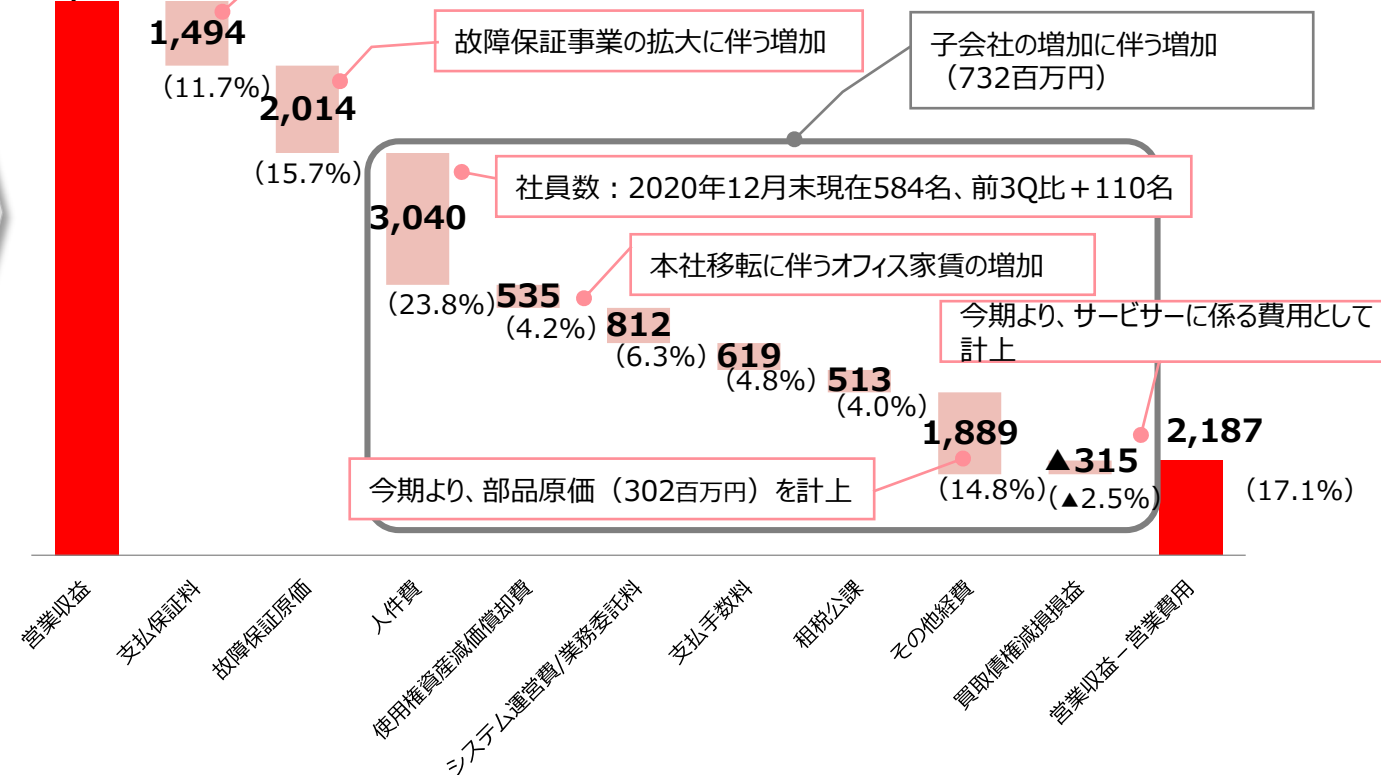
営業収益
10,173



FY21 3Q

営業費用 10,602百万円（前年同期比 118.4%）

営業収益
12,788



通期業績見通し

(グラフ単位：百万円)



- ✓ 通期業績予想を上方修正。引き続き**増収増益**を確保
→グループ会社のサービスの**業績好調**及び営業活動自粛等による**営業費用の減少**等が影響

営業収益

前期

今期

予想

17,140→[修正]17,300

実績

14,016

3Q累計
10,173

3Q累計
12,788

進捗率
73.9%

FY20

FY21

税引前利益

前期

今期

予想

2,865→[修正]3,300

実績
2,604

3Q累計
2,799

進捗率
84.8%

FY20

FY21

2020.12 **グループ会社セントパーツ株式会社が「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定**

経産省中小企業庁が選定する優良企業300社に、セントパーツ株式会社が選ばれました。
使用済自動車の適正処理や良質な中古部品の販売を通じた地球環境保全に向けたリサイクル社会の構築が評価されました。

2021.01 **故障保証累計契約台数100万台を突破**

当社グループの主力事業のひとつである故障保証事業において、
2008年のサービス提供開始から累計で契約台数が100万台を突破いたしました。
今後も故障保証のリーディングカンパニーとして、
第三者保証業界のマーケット拡大に貢献していきます。

2021.01 **ボランタリーチェーン整備工場「FIX MAN」、西日本にも進出**

自動車整備工場向け会員制サービス「FIXMAN Club」に加盟する工場から、
当社グループのオリジナルブランドである「FIX MAN」の看板を掲げた工場が、
西日本でも続々とオープンしております。

2021.02 **「FIXMAN Club」ブランドサイト オープン**

自動車整備工場向け会員制サービス「FIXMAN Club」の理念と取組みを、
自動車整備工場や工場を利用するお客様向けにお伝えするため、
ブランドサイトをオープンいたしました。

<故障保証累計契約台数>
創業時から右肩あがり
100万台を突破!

Year	Cumulative Contract Volume (Units)
2008	~10,000
2009	~20,000
2010	~30,000
2011	~40,000
2012	~50,000
2013	~60,000
2014	~70,000
2015	~80,000
2016	~90,000
2017	~100,000
2018	~110,000
2019	~120,000
2020	~130,000
2021	~140,000

来期に向けた動きについて

1

来期を見据えたコア事業 営業100名体制

高い成長率を回復するため、クレジット・故障保証における**営業人員を積極採用**。
リアルの新規出店は行わず、独自のBIZサイト形式にて**営業空白地域を解消し、シェア拡大を目指す**。

2

オートモビリティサービス 事業の強化・拡大

自動車整備工場の独自ネットワークへのコンテンツ提供により、**「FIXMAN Club」のネットワーク構築を更に拡大**。
M&Aも視野に入れた自動車流通関連のビジネス展開にも注力。
⇒これらにより、**来期営業収益構成比20%を目指し、利益率10%の確保を目指す**。

3

DX化推進 (業務イノベーション)による 利益貢献の拡大

プラットフォーム構想の実現に向け、各分野における**スペシャリストの採用及び育成に注力**。
DXに係る戦略を明確化するため、当社グループの**DXビジョンを公表し、DX銘柄への指定を目指す**。

4

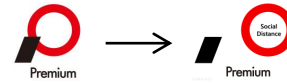
海外事業については ノンアセットを中心に展開

タイ、インドネシアにおける故障保証ニーズの高まりを受け、**アジアを中心に故障保証事業の展開を推進**。
また、アフリカや中南米を対象に、**中古自動車部品を中心とした輸出ビジネスも展開**。

(注) 1. BIZサイト形式とは、各地域に支店を設ける形ではなく、本拠は主要都市に置き、必要に応じて営業エリアに赴く営業展開方式をいいます。

2. 独自ネットワークとは、故障保証契約車両の修理を定期的に発注する先々であり、スポットで依頼する提携先と異なります。

APPENDIX



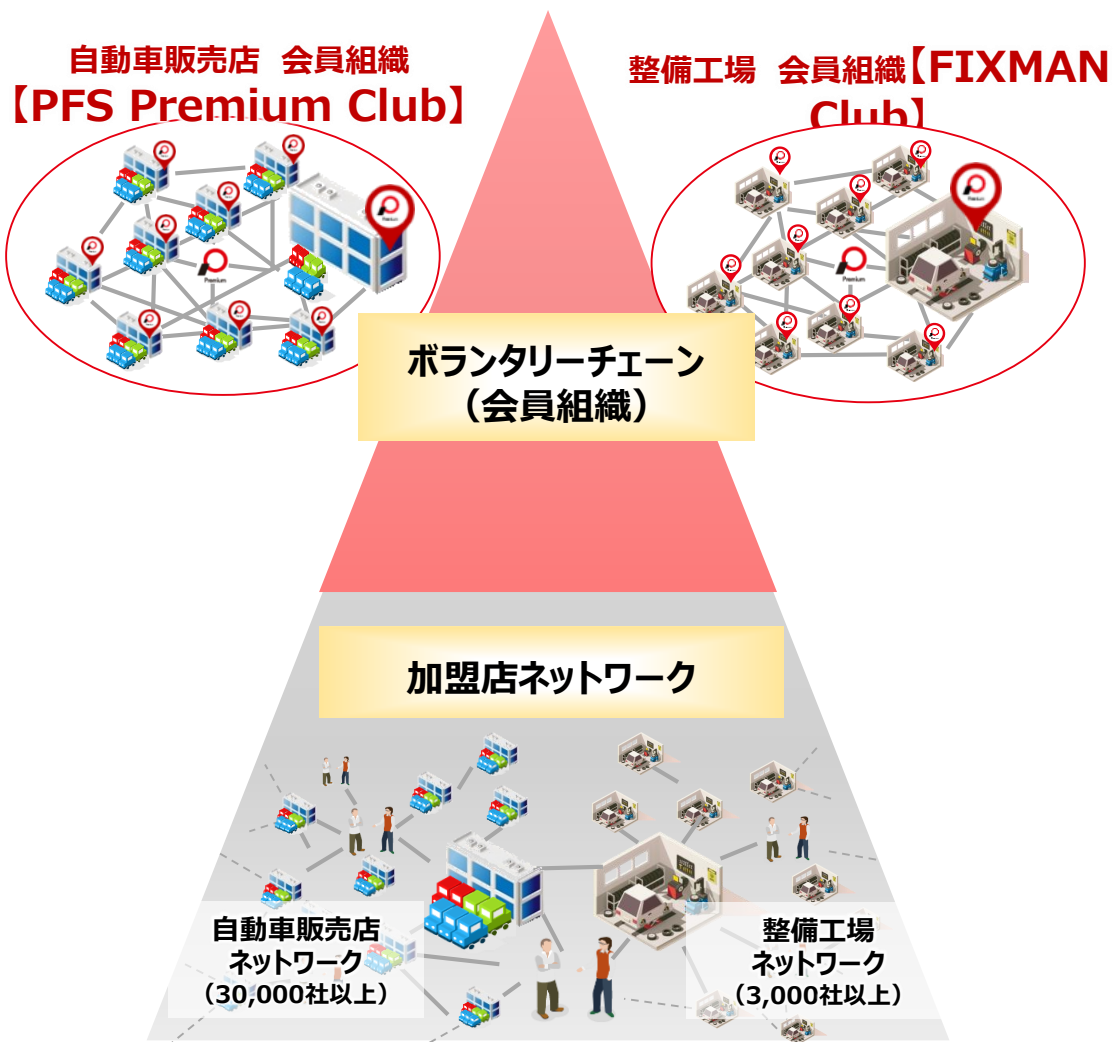
東証新市場区分「プライム市場」と当社の状況について

2022年4月予定の東京証券取引所の新市場区分への移行における、「プライム市場」の上場維持基準への当社の適合性は、現時点で以下の通りです。

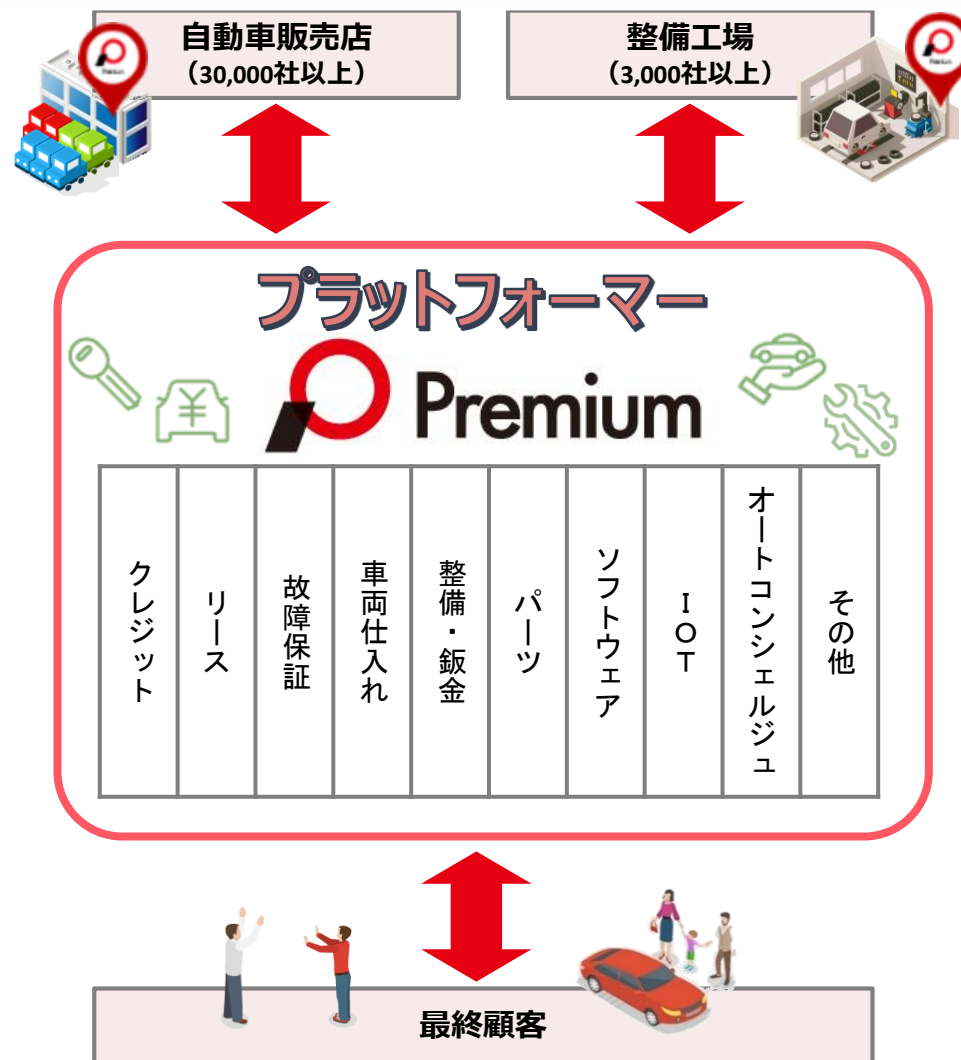
カテゴリ	基準	当社の状況		
流動性	株主数	800人以上 3,811人 (2020年9月時点)	○ (基準クリア)	
	流通株式数	20,000単位以上	111,391単位 (2020年9月時点)	○
	流通株式時価総額 ※2020年12月25日の 見直し後の基準	100億円以上	273億円 (2021年2月1日の 終値で計算)	○
	売買代金	1日平均売買代金0.2 億円以上	1.6億円 (2020年の1年間平均)	○
ガバナンス	流通株式比率	35%以上	84%	○
	見直し後のコーポレート ガバナンス・コード全 原則の適用	(詳細未公表)	-	-

「経営成績・財政状態」につきましては、新規上場に係る項目のため、割愛いたします。

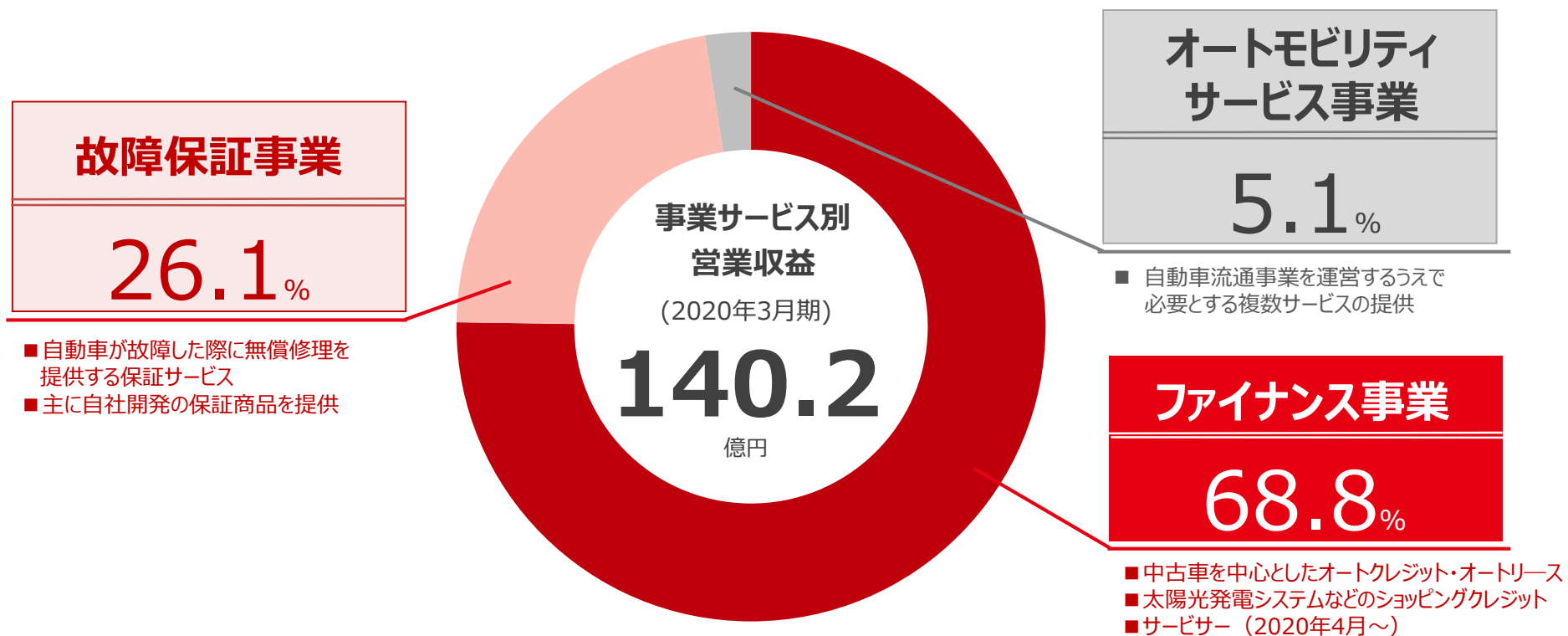
加盟店ネットワーク・ボランタリーチェーンの構築



加盟店ネットワークと顧客をつなぐプラットフォームへ



社名	プレミアグループ株式会社
証券コード / 市場	7199 / 東京証券取引所市場第一部
設立	2015年5月25日 (注)2007年、(株)ジー・ワンクレジットサービス(現 プレミア株)設立
本社	東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー
代表取締役社長	柴田 洋一
発行済株式数	13,286,390株 2020年12月末時点
資本金	1,634百万円 単体/2020年12月末時点
従業員数	584名 連結/2020年12月末時点 (注)臨時雇用者を除く、グループ従業員数
主な株主	B N Y メロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社 : 7.59% Coupland Cardiff Asset Management LLP : 6.99% RUSSELL INVESTMENTS IMPLEMENTATION SERVICES, LLC : 6.03% 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社・日興アセットマネジメント株式会社 : 5.05% (2020年12月22日時点 大量保有報告等を参照)
グループ内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国内におけるファイナンス ・故障保証商品の開発、販売 ・オートモビリティサービスの展開 ・海外(タイ王国、インドネシア共和国等)におけるクレジットコンサルティング事業、故障保証事業



ストック型ビジネス

クレジット・故障保証とも、利益を繰延計上する
ストック型の収益構造

安定成長の見込める
ビジネスモデル

キャッシュリッチ

クレジット・故障保証とも、支払資金・保証料の
「一括前受け」によりキャッシュポジションが安定的

良好なキャッシュ・フローの
ビジネスモデル

	FY20 (2020年3月31日)	FY21_2Q (2020年9月30日)	FY21_3Q (2020年12月31日)	前期末比	前Q比
資産の部					
現金及び現金同等物	6,286	9,468	7,754	123.4%	81.9%
金融債権	20,011	21,554	22,266	111.3%	103.3%
その他の金融資産	6,408	7,905	8,741	136.4%	110.6%
有形固定資産	3,092	3,464	3,305	106.9%	95.4%
無形資産	5,950	5,950	5,927	99.6%	99.6%
のれん	3,958	3,958	3,958	100.0%	100.0%
持分法投資	1,224	1,262	1,370	111.9%	108.5%
繰延税金資産	-	22	38	-	173.1%
保険資産	2,965	3,334	3,575	120.6%	107.2%
その他の資産	8,309	6,624	7,045	84.8%	106.4%
資産合計	58,203	63,541	63,978	109.9%	100.7%
負債の部					
金融保証契約	22,063	23,088	23,934	108.5%	103.7%
借入金	16,421	19,618	19,056	116.0%	97.1%
その他の金融負債	6,340	5,488	5,218	82.3%	95.1%
引当金	327	293	293	89.8%	100.1%
未払法人所得税	386	561	438	113.4%	78.0%
繰延税金負債	1,355	1,505	1,569	115.8%	104.2%
その他の負債	5,999	6,591	6,785	113.1%	102.9%
負債合計	52,891	57,144	57,293	108.3%	100.3%
資本の部					
親会社の所有者に帰属する持分					
資本金	1,534	1,569	1,590	103.7%	101.4%
資本剰余金	1,260	1,267	1,267	100.5%	100.0%
自己株式	△ 1,201	△ 1,201	△ 1,201	100.0%	100.0%
利益剰余金	3,587	4,620	4,855	135.3%	105.1%
その他の資本の構成要素	62	65	92	148.8%	142.5%
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,242	6,320	6,603	126.0%	104.5%
非支配持分	70	77	82	116.6%	105.7%
資本合計	5,312	6,397	6,685	125.8%	104.5%
負債及び資本合計	58,203	63,541	63,978	109.9%	100.7%

PL (連結累計期間)

(単位：百万円)



連結累計期間	FY20_1Q~3Q (2019年4月1日~ 2019年12月31日)	FY20 (2019年4月1日~ 2020年3月31日)	FY21_1Q~3Q (2020年4月1日~ 2020年12月31日)	前年同期比	前期末比
営業収益	10,173	14,016	12,788	125.7%	91.2%
その他の金融収益	9	5	3	28.3%	48.1%
持分法による投資利益	-	-	56	-	-
その他の収益	2,099	2,110	653	31.1%	30.9%
収益合計	12,281	16,132	13,498	109.9%	83.7%
営業費用	8,954	12,458	10,602	118.4%	85.1%
持分法による投資損失	15	844	-	-	-
その他の金融費用	34	151	82	240.5%	54.3%
その他の費用	35	75	15	43.7%	20.5%
費用合計	9,039	13,528	10,700	118.4%	79.1%
税引前当期（四半期）利益	3,242	2,604	2,799	86.3%	107.5%
法人所得税費用	1,277	1,152	952	74.5%	82.6%
当期（四半期）利益	1,966	1,452	1,847	94.0%	127.2%
当期利益の所属					
親会社の所有者に帰属する利益	1,971	1,466	1,835	93.1%	125.2%
非支配持分に帰属する利益	△ 5	△ 14	12	△250.2%	△88.9%

PL_営業収益・営業費用（連結累計期間）

（単位：百万円）



連結累計期間	FY20_1Q~3Q (2019年4月1日~ 2019年12月31日)	FY20 (2019年4月1日~ 2020年3月31日)	FY21_1Q~3Q (2020年4月1日~ 2020年12月31日)	前年同期比	前期末比
営業収益					
金融収益	5,994	8,158	7,090	118.3%	86.9%
故障保証収益	2,716	3,661	2,963	109.1%	80.9%
その他手数料売上	936	1,300	1,389	148.4%	106.8%
オートモビリティ関連売上	127	-	764	603.7%	-
ソフトウェア売上	262	349	317	121.0%	90.9%
保険履行収益	102	189	88	86.1%	46.2%
その他	36	358	176	491.8%	49.3%
合計	10,173	14,016	12,788	125.7%	91.2%

連結累計期間	FY20_1Q~3Q (2019年4月1日~ 2019年12月31日)	FY20 (2019年4月1日~ 2020年3月31日)	FY21_1Q~3Q (2020年4月1日~ 2020年12月31日)	前年同期比	前期末比
営業費用					
金融費用	74	102	90	120.9%	87.9%
支払保証料	1,351	1,854	1,494	110.6%	80.6%
金融資産の減損損失	56	79	△ 315	△567.1%	△396.6%
従業員給付費用	2,404	3,307	3,040	126.5%	91.9%
故障保証原価	1,826	2,421	2,014	110.3%	83.2%
オートモビリティ関連原価	64	-	505	790.4%	-
システム運営費	451	611	520	115.4%	85.2%
減価償却費	110	151	178	161.2%	118.1%
償却費	195	262	209	106.9%	79.7%
使用权資産減価償却費	285	442	535	187.4%	121.0%
租税公課	379	576	513	135.4%	89.1%
支払手数料	594	811	619	104.2%	76.2%
地代家賃	35	38	41	117.5%	107.7%
業務委託料	229	325	292	127.6%	89.8%
その他営業費用	902	1,479	866	96.0%	58.5%
合計	8,954	12,458	10,602	118.4%	85.1%

PL (連結会計期間)

(単位：百万円)



連結会計期間	FY20_3Q (2019年10月31日～ 2019年12月31日)	FY21_2Q (2020年7月1日～ 2020年9月30日)	FY21_3Q (2020年10月31日～ 2020年12月31日)	前年同期比	前Q比
営業収益	3,514	4,365	4,401	125.2%	100.8%
その他の金融収益	5	1	5	92.4%	575.7%
持分法による投資利益	28	-	68	242.2%	-
その他の収益	4	12	27	656.8%	229.0%
収益合計	3,551	4,377	4,501	126.7%	102.8%
営業費用	3,212	3,460	3,658	113.9%	105.7%
持分法による投資損失	-	25	-	-	0.0%
その他の金融費用	115	63	41	35.5%	65.5%
その他の費用	34	8	5	13.5%	55.0%
費用合計	3,361	3,556	3,704	110.2%	104.2%
税引前当期（四半期）利益	190	822	797	419.4%	97.1%
法人所得税費用	75	279	271	362.2%	97.1%
当期（四半期）利益	115	542	526	456.6%	97.1%
当期利益の所属					
親会社の所有者に帰属する利益	125	530	522	416.8%	98.5%
非支配持分に帰属する利益	△ 10	12	5	△47.7%	37.8%

PL_営業収益・営業費用（連結会計期間）

（単位：百万円）



連結会計期間	FY20_3Q (2019年10月31日～ 2019年12月31日)	FY21_2Q (2020年7月1日～ 2020年9月30日)	FY21_3Q (2020年10月31日～ 2020年12月31日)	前年同期比	前Q比
営業収益					
金融収益	2,134	2,375	2,365	110.8%	99.6%
故障保証収益	933	988	1,018	109.2%	103.0%
その他手数料売上	324	480	454	140.0%	94.5%
オートモビリティ関連売上	42	-	388	915.0%	-
ソフトウェア売上	69	152	95	137.4%	62.5%
保険履行収益	-	88	-	-	0.0%
その他	12	282	82	689.2%	29.0%
合計	3,514	4,365	4,401	125.2%	100.8%

連結会計期間	FY20_3Q (2019年10月31日～ 2019年12月31日)	FY21_2Q (2020年7月1日～ 2020年9月30日)	FY21_3Q (2020年10月31日～ 2020年12月31日)	前年同期比	前Q比
営業費用					
金融費用	27	32	21	78.3%	66.9%
支払保証料	497	495	512	103.0%	103.5%
金融資産の減損損失	33	△ 175	△ 99	△305.7%	56.7%
従業員給付費用	842	1,020	1,030	122.3%	101.0%
故障保証原価	604	716	655	108.4%	91.5%
オートモビリティ関連原価	29	-	297	1006.9%	-
システム運営費	129	179	171	132.7%	95.1%
減価償却費	54	65	49	89.6%	74.5%
償却費	67	69	75	111.9%	107.9%
使用权資産減価償却費	99	166	183	184.0%	109.9%
租税公課	144	174	166	115.3%	95.3%
支払手数料	226	211	202	89.4%	96.0%
地代家賃	16	16	12	78.2%	75.7%
業務委託料	118	96	117	99.1%	122.0%
その他営業費用	326	396	267	82.0%	67.6%
合計	3,212	3,460	3,658	113.9%	105.7%